



# 高専通信

2013/03

Vol. 7

## TOYAMA National College of Technology

### ☑ CONTENTS

- 02 校長ご挨拶
- 03 卒業証書・修了証書授与式
- 04 本郷キャンパス
- 06 射水キャンパス
- 08 進路一覧
- 10 就職・進学体験記
- 12 インターンシップ
- 14 退職教職員挨拶
- 15 News&Topics
- 編集後記



# Greetings

## 校長ご挨拶

### 年頭所感

#### —スーパー高専のミッション—

校長 米田 政明



本校が、平成21年10月に旧富山工業高専と旧富山商船高専が統合・高度化再編して「スーパー高専」になってから4回目の正月を迎えました。4月には新高専の1期生が4年生になり、いわゆる過渡期の最終年度になります。この間、「1つの高専」として、本郷キャンパス（旧工業高専）と射水キャンパス（旧商船高専）の融和融合を目標に掲げて学生・教職員が一丸となって努力してきました。同じ国立高専とは言え、異なる歴史と文化を持つ2つの組織が融合することは容易ではありませんが、例えば、入学式や両キャンパス後援会による講演会のような行事、また合同球技大会、学園祭の交互開催（本郷キャンパス：高専祭、射水キャンパス：北斗祭）、そして本郷キャンパスからも参加する伝統のカッターレース大会など学生の主体的企画による取組を通して、一歩ずつ融合の実を挙げてきました。融合することにより、1+1が2以上の結果を出すことが可能になると確信しています。

スーパー高専の学科構成は本郷キャンパスに3学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科）と一般教養科（本郷キャンパス）、射水キャンパスに3学科（電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科）と一般教養科（射水キャンパス）、それに臨海実習場と練習船若潮丸から成っています。本科6学科は、学科名称からも分かる通り、いずれも複合的教育研究分野を有しています。このように、工学系、人文社会系、そして海事系から成る「分野多様性」が、全国に51ある国立高専の中でも本校の大きな特徴になっています。

話は変わりますが、今、国立大学は一斉にミッション（役割）の再定義を求められています。日本の大学の在り方が問われているのです。高専は大学とは異なるミッションを持つ

高等教育機関ですし、今後もそうであるべきだと確信しています。そこで、2つのキャンパスが融合したスーパー高専としての本校のミッションを私なりに3つに整理してみますと、先ず第1に、中学卒業生を学生として受け入れ、5年一貫教育により創造性に富む複合的技術者・ビジネスパーソンとして育成すること。このミッションが基本であることは言うまでもありません。その上で、第2に、急速に進展するグローバル化に対応できる国際性を身に付ける機会を拡充すること。このミッションの達成に本校はかなりのエネルギーを注ぎ、成果も得られています。そして、第3は、7年一貫教育を担う専攻科を拡充・高度化し、製品開発などのより高度な仕事に従事できる知識と技術を有する技術者・ビジネスパーソンを育成すること。そのために、今、専攻科生が履修する授業科目の単位の実質化（中身が伴うこと）が求められています。スーパー高専に配置された「地域人材開発本部」（地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターから構成される）の役割はこれらのミッション、特に第2と第3のミッション遂行に資することです。そのため、地域人材開発本部の3センターは本科、専攻科と力を合わせて、精力的に活動を展開しています。

これらのミッションを達成していくことにより、スーパー高専としての本校のプレゼンス（存在価値）が高まり、それが志願者増に繋がり、地域社会そして国際舞台で活躍できる技術者・ビジネスパーソンを数多く世に送り出す正のスパイラル（循環）を生むものと考えます。そのとき、本校は国立高専機構本部から信頼され、地域社会からは真に愛されるスーパー高専に進化できるものと思います。

以上、平成25年の年頭所感を記してみました。皆さん、今年もどうぞよろしくお願い致します。

平成24年度卒業証書・修了証書授与式



本郷キャンパス



射水キャンパス

平成24年度  
**卒業証書・修了証書  
授与式**  
Commencement

平成24年度卒業生・修了生数

| 本郷キャンパス        |             | 射水キャンパス      |             |
|----------------|-------------|--------------|-------------|
| <b>学科生</b>     | <b>141名</b> | <b>学科生</b>   | <b>113名</b> |
| 機械工学科          | 34名         | 電子制御工学科      | 33名         |
| 電気工学科          | 35名         | 情報工学科        | 42名         |
| 物質工学科          | 34名         | 国際流通学科       | 38名         |
| 環境材料工学科        | 38名         | <b>専攻科生</b>  | <b>14名</b>  |
| <b>専攻科生</b>    | <b>32名</b>  | 制御情報システム工学専攻 | 11名         |
| 機能材料工学専攻       | 1名          | 国際ビジネス学専攻    | 3名          |
| 機械・電気システム工学コース | 17名         |              |             |
| 機能材料工学コース      | 14名         |              |             |

卒業を祝して

富山高専専門学校本郷キャンパス後援会会長  
**中井 一彦**

皆さん、ご卒業、おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様達が立派に卒業という日を迎えられたことお祝い申し上げます。そして、校長先生はじめ先生方におかれましては、ここまで色々な場面でご指導をいただき後援会を代表して心よりお礼申し上げます。

さて、皆さんはそれぞれの進路へ大いなる決意と期待を胸に歩き出そうとしています。今は非常に厳しい時代ですが、このキャンパスで学んだ皆さんの力を社会が望んでいます。私も本学のOBとして二十数年社会で過ごしていますが、大学卒業者と能力は決してひけを取らずむしろ対等以上の活躍をしている先輩や後輩も多数見て来ております。

皆さんがこれからの社会で諸先輩方と同様にまたそれ以上に活躍するためにも「あきらめるな」という言葉を忘れないでいて欲しいと思います。どんな事でも諦めた時点で終わってしまいます。良否問わず必ず結果を出す。これが皆さんを成長させ、社会で活躍する基礎となるのではないかと考えます。

皆さんの輝かしい未来と健康をお祈りして、ご卒業の祝辞とさせていただきます。

富山高専専門学校射水キャンパス後援会会長  
**梅村 正義**

射水キャンパス後援会を代表しまして、一言ご挨拶をさせていただきます。皆さん、本日はご卒業、おめでとうございます。

保護者の皆様にはお子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたことお祝い申し上げます。また、校長先生はじめ先生方におかれましては、今日までのご指導を心よりお礼申し上げます。

さて、景気低迷を背景に就職難の話がよく聞かれます。この厳しい環境の中、皆さん全員が進学・就職を決められたことは大変喜ばしいことであります。これは、皆さん、そして富山高専専門学校が社会から高い評価を受けていることにほかなりません。

皆さんも卒業生としての自負と自信を持ち、大いにご活躍されることを期待しております。

最後になりますが、私のいた会社のキャッチコピーに「夢をかたちに」というのがあります。皆さんも是非、「夢」を描き、その夢を「かたち」にされ、素晴らしい時・素晴らしい人生を歩まれることを心より願い、私の挨拶とします。

平成24年度  
卒業証書・  
修了証書授与式  
本郷キャンパス  
Commencement  
平成25年3月18日



## 卒業研究を終えて

物質工学科 眞田 歩美

卒業を前にした今、多くの思い出の中で、私にとって最も印象深いのは、高専における学習の集大成ともいべき卒業研究での経験です。この経験から私は非常に多くのことを学びました。

私の研究テーマは無機塩合成に関するものでしたが、当初、目的の化合物は得られるものの、安定した高い収率を得られずにいました。思うような結果が得られないまま時間が過ぎてゆくことで、精神的に追い込まれるような状態に陥ってしまうこともありました。それでも、諦めずに粘り強く実験を続けるうちに、収率改善に繋がる糸口が見えたときには、これまでに経験したことのない達成感を味わうことができました。同時に、実験結果に基づく考察や成果を発表したり、ディスカッションしたりすることによって、研究は深化したり前進したりしてゆくものなのだとこのことを経験する中で、コミュニケーション能力や積極性における自身の至らなさも痛感しました。

私が途中で研究を投げ出さずに、問題解決への突破口を粘り強く探し出すことができたのは、先生の厳しくも温かいご指導と、先輩や同級生たちの支えのお蔭です。これまでご指導いただいた教職員の皆様、先輩方、同級生たちに、改めて感謝致します。

## 専攻科修了を迎えて

エコデザイン工学専攻 清水 一憲

学科生としての5年、専攻科生としての2年、この計7年間は大変短く感じました。学年を重ねるごとに高度に専門化していく講義に、戸惑いと好奇心を持って挑んでいたことをよく覚えています。また、専攻科生となってからは、学科で学んだものとは異なる分野の講義が増え、新たな知見を得ることができました。

専攻科と学科の学生で大きく異なるのは、自らの研究に費やす時間だと思えます。配属先の研究室にはもちろん指導教員の先生がいらっしゃいますが、先生がつきっきりで研究を進めるわけではありません。そのため、研究に対する専門知識についてご助言を頂くことはあっても、基本的に自らの研究は自分自身で進行・発展させていく努力をしなければなりません。実験のやり直し等も多々ありましたが、その度に先生方からご指摘を受け、さらに基礎を再確認することで問題を乗り越えることができました。このことは、研究を進めていく上で大きな自信となりました。この何かを乗り越えたという自信と事実は、社会に出てからも通用するものだと信じています。

私を心身ともに成長させてくれたこの富山高専と教職員の方々に感謝致します。

## 卒業生本校表彰

本校表彰規程によるもの

### 学業優秀賞

尾苗 晃一（機械工学科）  
AHMED HOSSAIN（電気工学科）  
上田 翔（物質工学科）  
猪又 千歩（環境材料工学科）

### 学生会活動功労賞

長田 峻也（機械工学科） 千代 良美（電気工学科）  
増山 陽太（電気工学科） 岡本 優（物質工学科）  
山崎元太郎（物質工学科）

### 寮生会活動功労賞

野田 尚人（機械工学科） 岡田 一樹（電気工学科）  
中森 舞（物質工学科） 田中 大喜（環境材料工学科）

### スポーツ賞

柔道部 白川 郁子（環境材料工学科）

### 文化賞

囲碁将棋部 高村咲也子（環境材料工学科）

### 卓越した学生に対する表彰

上田 翔（物質工学科）  
高村咲也子（環境材料工学科）



機械工学科 担任

**白川 英観**

## 卒業生に向けて

卒業おめでとうございます。これからは、将来の夢に向かって新しい道を歩いていくことになります。しかし、将来の夢を実現するには、高専で学んだ知識や技能などでは不十分で、高度の知識や技術を修得するための多くの試練があると思います。試練は必ず乗り越えられるもので、努力を惜しまずに、積極的に行動して、様々な経験から多くのことを学習してください。その努力は必ず報われ、得られた知識や能力によって将来の夢に一歩ずつ確実に近づくことができます。そして、チャンスを生かして自分の夢を実現してください。今後、皆さんが活躍されることを期待しています。

## 卒業を祝して

ご卒業おめでとうございます。皆さんが本校で学んだことは表面的な知識としてすぐに役に立たなくなるようなものではありません。繰り返し身につけることで今後一生に渡って生きてくる事を学んだのだと自信を持って卒業後の一歩を歩みだしてください。これからも勉強は必要ですが、学び続けるための基礎を身につけたのです。高専出身の学生は企業でも大学でも活躍し、就職、進学共に好調なのは先輩方の活躍による所も大きいですが、それは入社、あるいは入学するまでです。企業、大学の方は高専出身なら誰でもいいのではなく、あなた自身に期待しています。これまで以上に個性を磨いて頑張ってください。



電気工学科 担任

**藤崎 明広**



物質工学科 担任

**峰本 康正**

## 卒業おめでとう

卒業、おめでとうございます。入学以降いろいろあったと思いますが、無事に卒業に至ったことは喜ばしい限りです。改めて卒業まで協力してくれた家族に感謝してください。

4月からは新しい活躍の場に移ることになります。何らか与えられてきたことから自ら求めて行動しなければならぬ状況に変わります。ですからこれを期に積極的にいろいろなことにチャレンジしてください。経験値を大きく上げることができる20代であり、ここで経験したことが今後の人生に役立つと思います。やや消極的であった皆さんがそのイメージを払拭するだけの行動とそれに伴う活躍をしてくれることを期待しております。

## 卒業に寄せて

自然に手を差し伸べたり、周囲の心配な様子をさりげなく教えてくれたり、日常での観察力と思いやりがあふれた自慢のクラスでした。私自身、高専では先輩にあたる皆さんに随分助けられました。これからもその優しさを忘れずに、そして力強くそれぞれの道を進んでください。また、後押ししてくれる周囲の人々への感謝を忘れないでください。

私が赴任して最初の授業を行ったのが皆さんのクラスでした。緊張した授業の直後、数人がいきなり「先生、何歳？」と聞いてきたことを忘れもしません。その屈託のない笑顔と素直さに、ここで頑張れそうと思えました。皆さんとの出会いに感謝しています。



環境材料工学科 担任

**尾山 由紀子**



本郷キャンパス副専攻科長

**西 敏行**

## 専攻科修了を祝して

エコデザイン工学専攻、修了おめでとうございます。今から2年前、皆さんは専攻科での授業に期待と不安を抱いて入学してきたことと思います。専攻科は、本科の延長線上にあります。授業内容等は本科生と大きく異なる点もあり、いろいろ悩むこともあったことでしょう。この2年間、日本には震災の影響などで明るい話題が少なかったように思います。このような状況を打破し、元気な日本を取り戻すためには、皆さんのような若いエンジニアの力が不可欠です。専攻科2年間で学んだ知識と数々の経験を生かし、社会の第一線で活躍出来る日が必ずやって来ます。皆さんの今後のご活躍を期待しております。

平成24年度  
卒業証書・  
修了証書授与式  
射水キャンパス  
Commencement  
平成25年3月1日



## 卒業式を迎えて

国際流通学科 山崎 美里

「光陰矢の如し」という諺もあるように、夢と希望を胸いっぱいにして臨んだ入学式から、早5年の歳月が流れました。入学式がつい先日のことと感じられるほど、時の流れは速く、寂しさを感じています。

卒業を迎えた今、この学校で過ごした思い出が次々と蘇ってきます。立山合宿でクラスメイトとの距離が縮まったこと、カッターレース大会ではお揃いのクラスTシャツを着て慣れないオールを漕いだこと、球技大会ではクラス一丸となって優勝を目指したこと。5年生になると、就職活動や編入学試験、卒業研究など辛く苦しいこともありました。思い出は尽きませんが、長い学校生活を思い出したとき、いつもそばにいたのは友人でした。辛く苦しかった思い出もありますが、第一に思い出せるのは友人と笑い合っている楽しい思い出ばかりです。私にとって、毎日一緒にいたクラスメイトは、第二の家族とも言えるほど大切に大好きな存在であり、高専での思い出は忘れることのできない一生の財産です。

富山高専に入学して本当に良かったと心から感じています。これから進路は異なりますが、皆が自ら選んだ新しい道で、新たな人生を歩みたいと思います。5年間本当にありがとうございました。

## 専攻科修了を迎えて

制御情報システム工学専攻 牧 啓士郎

専攻科での2年間は想像していたよりも短く、あっという間に過ぎていきました。常に忙しく大変でしたが、充実した学生生活を送ることができました。

1年生では単位修得のため、ほとんどの授業を受講し、課題に追われる日々を過ごしました。それに加え、特別研究、実験実習など様々な専門科目がありました。その中でも私が印象に残っているのは北アイルランドでの海外インターンシップです。1ヶ月弱という期間を海外で過ごすことにより、視野が広がりました。2年生になってすぐに本格的に就職活動が始まり、心が折れそうにもなりましたが、無事に内定をいただくことができました。その後、専攻科の一番の山場である学位試験に向けて今まで以上に腰をいれ真剣に研究に取り組みました。そして見事に全員が学位試験に合格し、専攻科修了を迎える事ができました。

専攻科では専門的な知識のほかに、自分で考え問題を解決する自主性など、社会に出てから重要となる多くのことを学びました。これらの経験を通じて、少なからず成長できたと感じています。4月からは社会人として働き始めますが、本校での7年間の経験を糧に、技術者として社会に貢献していきたいと思っています。

## 卒業生本校表彰 本校表彰規程によるもの

### 学業優秀賞

宝田 勇真 (電子制御工学科)  
杉木 勇磨 (情報工学科)  
山崎 美里 (国際流通学科)  
一島 耀 (制御情報システム工学専攻)  
永原 玲美 (国際ビジネス学専攻)

### スポーツ賞

陸 上 部 竹部 真晃 (情報工学科)  
陸 上 部 杉木 勇磨 (情報工学科)

### 特別賞

学生会長 河原 未来 (情報工学科)  
女子学寮会長 勘坂菜都美 (情報工学科)

### 卓越した学生に対する表彰

杉木 勇磨 (情報工学科)



電子制御工学科 担任

### 早勢 欣和

## 今を生きる

ご卒業おめでとうございます。みなさんは常に未来へのスタートラインに立っています。明日への道は分岐の連続で、自由意志による選択には責任が伴いますが、勇気を持って踏み出してください。社会は多くの人の繋がりで成り立ち、人の数だけ、考え方や生き方がありますが、自分を大切にしつつ、周りの人のことも理解してください。一人一人が小さなことでもそれぞれが出来ることを確実に行うことで、よりよい未来を築けるはず。自分のいる場所を見極め、自分の足でしっかりと立たなければなりません。主体的に自分の頭で考え、そして自分で行動できる人に日々成長していってくれることを期待しています。

## 新たな一歩

皆さん、ご卒業おめでとうございます。期待に胸を膨らませ、本校に入学してから5年が経ちました。あどけなかった顔つきも、今ではすっかり青年のそれに変わり、遅く成長した姿を担任としてとても誇らしく思います。高専生活の終わりと共に慣れ親しんだ本校から巣立ち、皆さんは新たな活躍の場へ一歩踏み出します。新たな環境での生活に対し、期待や熱意、不安や戸惑いなど様々な想いがあると思います。希望を力に、困難を糧として、これからの人生を歩んでいってください。今まさに踏み出す新たな一歩が、皆さんにとって大きな、素晴らしい一歩となることを祈っています。



情報工学科 担任

### 秋口 俊輔



国際流通学科 担任

### 海老原 毅

## 主体的に人生を生きよう

ご卒業おめでとうございます。  
1・2・5年の担任として、皆さんの学生生活に関わってきました。この間、私が言い続けてきたのは「一人一人が人生の主人公」ということです。この点は浸透したと感しますが、それを実践すべきなのはむしろ本校卒業後です。環境が一変し、目標も再設定しなければならず、成人としての役割も求められます。環境が厳しいことは、皆さんが向き合った環日本海諸国と日本の関係を見れば容易に想像できるはず。多面的な角度から相手を理解し、積極的に行動し、人生を主体的に生きていってください。その過程で、本校で得た知識や知恵を生かす場面が必ず現れると信じています。

## 修了を祝して

専攻科修了おめでとうございます。この2年間は政治・経済・社会と大きな変化があったときでした。皆さんがこれから出て行く社会は平穏な場ではありません。多くの困難な問題をかかえた荒々しい厳しい場です。その中で自主自立して行くためには、どのような困難も打ち破り進路を切り開いていく開拓精神を持ち続けることが必要です。持続は力です。目先のことに左右されることなく、一步一步しっかりと踏みしめて前に向かって進んでください。



専攻科長

### 篠川 敏行

## 卒業生学会等表彰 学科から学会等に推薦するもの

### 日本機械学会 畠山賞

澤越 純 (電子制御工学科)

### 情報処理学会 北陸支部 優秀学生賞

須藤 洸基 (情報工学科)

### 映像情報メディア学会 北陸支部 優秀学生賞

今枝 駿 (情報工学科)

### 秘書サービス接遇教育学会 学生奨励賞

田中 明弓 (国際流通学科)

### 南クイーンズランド大学 学生奨励賞

村岡 佑香 (国際流通学科)

### 中国東北财经大学 国際漢語文化学院 優秀学生賞

松為 千紗 (国際流通学科)

### 韓国延世大学 校言語教育院 韓国語学堂

### 韓国語能力優秀賞

橋本 佳奈 (国際流通学科)

### ロシアネヴェルスコイ海洋大学 学生奨励賞

浅野 杏奈 (国際流通学科)

# 進路一覽

## 本郷キャンパス

### 就職先

企業名は50音順に記載。( )内は人数。

#### 学 科

**機械工学科** 朝日印刷/柿本商会/関西電力/三晶MEC/ゼオンノース/大洋エンジニアリング/日研プラント/日本ゼオン高岡工場(2)/パナソニックデバイス社/ファインネクス/北陸電力/北陸発電工事/ムラテックCCS/山田工業/YKK AP黒部事業所/YKK黒部事業所(4)

**物質工学科** 三晶MEC/住友化学千葉工場/第一ファインケミカル/ダイキン工業/テイカ製薬/富山化学工業(2)/日医工/日本ゼオン高岡工場/三菱ガス化学新潟工場

**電気工学科** 関西電力/クラシエ製薬/シキノハイテック/中央エンジニアリング/中部国際空港施設サービス/中部電力/中菱エンジニアリング/東洋電機製作所/日本触媒/日本曹達高岡工場/富士化学工業/富士重工/北陸電力(4)/メタウォーター

**環境材料工学科** アイティオ/朝日印刷/協伸熱処理工業/クロタニコーポレーション/サンエツ金属/三晶MEC/スギノマシン/立山電化工業/富山化学工業/ミズノマシナリー/ユニチカ/YKK AP黒部事業所/YKK黒部事業所/NTTコムウェア

#### 専攻科

**機械・電気システム工学コース** コーセル/小松製作所栗津工場/JXエンジニアリング/スギノマシン/中越合金鑄工/日本車輛製造/不二越/北陸発電工事/ミズノマシナリー/ユニゾーン

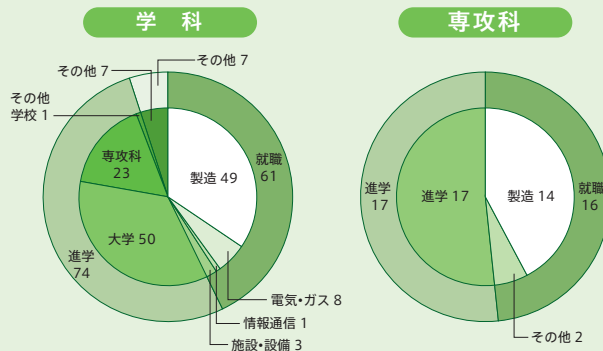
**機能材料工学コース** ダイト/田中精密工業/日医工/ユースキン製薬

### 進学先

| 学 科      |    |    |    |      | 専攻科         |    |    |    |      |               |                |           |
|----------|----|----|----|------|-------------|----|----|----|------|---------------|----------------|-----------|
| 大学名      | 機械 | 電気 | 物質 | 環境材料 | 大学名         | 機械 | 電気 | 物質 | 環境材料 | 大学院名          | 機械・電気システム工学コース | 機能材料工学コース |
| 東北大学     |    | 1  |    | 1    | 岐阜大学        |    |    | 1  | 1    | 福島大学大学院       |                | 1         |
| 筑波大学     |    | 1  |    |      | 名古屋大学       |    | 2  | 1  |      | 茨城大学大学院       | 1              |           |
| 宇都宮大学    | 1  |    |    |      | 名古屋工業大学     |    |    | 1  |      | 東京工業大学大学院     |                | 1         |
| 千葉大学     |    |    |    | 1    | 豊橋技術科学大学    |    | 2  | 2  | 5    | 長岡技術科学大学大学院   | 1              | 2         |
| 東京農工大学   |    |    | 1  |      | 島根大学        |    |    | 1  |      | 富山大学大学院       | 1              |           |
| 電気通信大学   |    | 1  |    |      | 広島大学        |    |    | 1  |      | 金沢大学大学院       | 3              | 3         |
| 静岡大学     |    |    | 2  |      | 九州大学        |    |    | 1  |      | 北陸先端科学技術大学院大学 |                | 1         |
| 新潟大学     | 2  |    | 4  |      | 九州工業大学      |    | 1  |    |      | 豊橋技術科学大学大学院   |                | 1         |
| 長岡技術科学大学 | 1  |    | 2  | 5    | 富山高専専門学校専攻科 | 7  | 7  | 3  | 6    | 名古屋大学大学院      | 1              |           |
| 富山大学     | 1  |    | 1  | 1    | 日本工学院専門学校   |    |    |    | 1    | 九州工業大学大学院     |                | 1         |
| 金沢大学     | 1  | 1  | 2  | 1    | 合計          | 13 | 16 | 23 | 22   | 合計            | 7              | 10        |

### まとめ

| 学 科            | 卒業予定者 | 就職者 | 進学者 | その他 |
|----------------|-------|-----|-----|-----|
| 機械工学科          | 34    | 20  | 13  | 2   |
| 電気工学科          | 35    | 17  | 16  | 2   |
| 物質工学科          | 34    | 10  | 23  | 1   |
| 環境材料工学科        | 38    | 14  | 22  | 2   |
| 合 計            | 141   | 61  | 74  | 7   |
| 専攻科            |       |     |     |     |
| 機械・電気システム工学コース | 17    | 10  | 7   | 0   |
| 機能材料工学コース      | 16    | 4   | 10  | 2   |
| 合 計            | 33    | 14  | 17  | 2   |



平成25年3月18日現在



就職先

企業名は50音順に記載。( )内は人数。\*商船学科と海事システム工学専攻は高専通信6号で掲載済

学 科

**電子制御工学科** 大阪ガス/クレオテクノロジー/三興コントロール/自営業/ジェイエムエンジニアリング/澁谷工業/東海旅客鉄道/東芝エレベータ/富山県並行在来線準備(2)/日本エレクトロニクスサービス/パナソニックデバイス社/日立ビルシステム/不二越/北陸電力/三菱電機ビルテクノサービス/YKK黒部事業所(3)

**国際流通学科** アルプス農業協同組合/コマツNTC(2)/コマツキャステックス/シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル/澁谷工業/スタック電子/タカノギケン/富山富士通/飛騨信用組合/ブルーエースグランドサービス/YKK黒部事業所(3)/海上保安庁(第四管区海上保安本部)/外務省(2)/名古屋家庭裁判所/財務省(東京税関)/富山県/富山県警察

**情報工学科** アスプロコミュニケーションズ/アップフロンティア/アライズ/アルファシステムズ/エヌ・ティ・ティ ネオメイト/大塚製薬工場/高志インテック/シーイーシー/東洋計器/西日本旅客鉄道/日本放送協会/なんと農業協同組合/ブルーコムブルー/北陸電力/メイテックフィルダーズ/モバイルファクトリー/YKK黒部事業所(2)

**商船学科(\*)** インターモーダルエンジニアリング(2)/ウィングマリタイムサービス/宇徳/NSユナイテッド海運/加賀建設/川崎汽船/川崎近海汽船/神原汽船/グローバル・アシスト/三協/IX日鉱日石 SHIPPING/IX日鉱日石タンカー/商船三井/商船三井フェリー(2)/第一中央マリン/ダイトーコーポレーション(2)/太平日本汽船(2)/東洋信号通信社/東レ/ニッスイマリン工業/日本海洋船削/日本海洋事業/日本通運/ファブリカトヤマ/富洋海運/北陸発電工事/名港海運/ヤンマーエネルギーシステム

専攻科

**制御情報システム工学専攻** オプティム/カシイ/不二越情報システム/北陸通信工業/マブチモーター

**国際ビジネス学専攻** 不二越/北陸発電工事/前田商会不動産サービス

**海事システム工学専攻(\*)** 飯野海運/東洋信号通信社/日本海洋事業

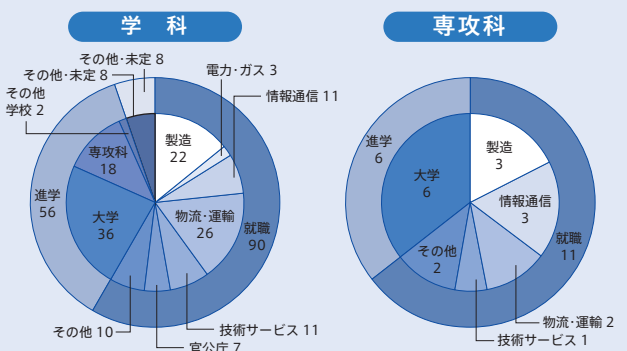
進学先

| 学 科      |    |      |    |    | 専攻科         |    |      |    |    |               |              |           |            |
|----------|----|------|----|----|-------------|----|------|----|----|---------------|--------------|-----------|------------|
| 大学名      | 商船 | 電子制御 | 情報 | 国際 | 大学名         | 商船 | 電子制御 | 情報 | 国際 | 大学院名          | 制御情報システム工学専攻 | 国際ビジネス学専攻 | 海事システム工学専攻 |
| 岩手大学     |    | 1    |    |    | 京都工芸繊維大学    |    |      | 1  |    | 長岡技術科学大学大学院   | 3            |           |            |
| 筑波大学     |    |      | 1  | 1  | 神戸大学        | 1  |      |    |    | 豊橋技術科学大学大学院   | 2            |           |            |
| 東京海洋大学   | 1  |      |    |    | 横浜国立大学      |    |      | 1  |    | 北陸先端科学技術大学院大学 | 1            |           |            |
| 電気通信大学   |    |      | 2  |    | 福井大学        |    |      | 1  |    |               |              |           |            |
| 長岡技術科学大学 |    | 3    | 3  |    | (私)上智大学     |    |      |    | 1  |               |              |           |            |
| 富山大学     | 1  | 3    |    | 2  | (私)帝京大学     |    |      |    | 1  |               |              |           |            |
| 金沢大学     |    | 2    |    |    | (私)金沢星稜大学   |    |      |    | 1  |               |              |           |            |
| 信州大学     |    |      |    | 2  | 富山高専専門学校専攻科 | 4  | 1    | 9  | 4  |               |              |           |            |
| 名古屋大学    |    |      | 1  | 1  | 富山県立保育専門学院  |    |      |    | 1  |               |              |           |            |
| 豊橋技術科学大学 |    | 1    | 3  |    | 富山県立総合衛生学院  | 1  |      |    |    |               |              |           |            |
| 滋賀大学     |    |      | 1  |    | 合計          | 8  | 11   | 23 | 14 | 合計            | 6            | 0         | 0          |

まとめ

\*商船学科と海事システム工学専攻は高専通信6号で掲載済

| 学 科          | 卒業予定者 | 就職者 | 進学者 | その他 |
|--------------|-------|-----|-----|-----|
| 商船学科*        | 41    | 32  | 8   | 1   |
| 電子制御工学科      | 33    | 19  | 11  | 3   |
| 情報工学科        | 42    | 18  | 23  | 1   |
| 国際流通学科       | 38    | 21  | 14  | 3   |
| 合 計          | 154   | 90  | 56  | 8   |
| 専攻科          |       |     |     |     |
| 制御情報システム工学専攻 | 11    | 5   | 6   | 0   |
| 国際ビジネス学専攻    | 3     | 3   | 0   | 0   |
| 海事システム工学専攻*  | 3     | 3   | 0   | 0   |
| 合 計          | 17    | 11  | 6   | 0   |



平成25年3月18日現在

# 就職・進学体験記



本郷キャンパス

## 編入学試験を終えて

機械工学科5年

菅田 裕貴

私は金沢大学へ進学します。4年の前期の頃は、進学と就職で大変悩んでいたのですが、インターンシップ先で働く社員の方々の仕事に対する姿勢や会話から、より深い専門知識と計画遂行などの技能が仕事には必要であることを感じ、進学を真剣に考えるようになりました。

編入学試験では、自分自身の将来を考えるよい機会になりました。将来、就きたい仕事を明確にするために、様々な企業や大学を調べました。その結果、風車などの流体関係の仕事に携わりたいと思うようになり、金沢大学に決めました。

進学後は、自分の目標に向かい、強い覚悟を持って、研究や講義などに積極的に取り組んでいきたいと思っています。



本郷キャンパス

## 就職活動を終えて

電気工学科5年

岡田 一樹

まず初めは、電気の知識を活かせる所や、自分が興味のあることに関わる所など、広く企業を調べました。企業を決めてからは、ホームページを見たり、実際に働いておられる富山高専の卒業生の話の聞いたり、説明会に行ったりして、就職活動を行い、関西電力に内定しました。

私の経験から後輩に伝えることがあるとすれば、「今のうちに何でもやってみろ」ということです。そうすることで、自分が興味をもったものが見えてきて、就職したい企業を探す時に参考になると、おのずと企業も絞れてくると思います。

最後に、富山高専を卒業すると社会人になるので、自覚を持って頑張りたいと思っています。



本郷キャンパス

## 編入学試験を終えて

物質工学科5年

久保 洋介

私が大学への進学を真剣に考え始めたのは3年生の冬でした。それまでの高専生活で、何かに一生懸命に取り組んだ経験が無かった私にとって、編入学試験は頑張ることの出来る最後の機会でした。4年生の春から徐々に編入学試験に向けた勉強を始め、数学や専門科目で分からない問題につまずいたときは先生に質問したり、寮の友達と協力して解いたりしました。継続的な努力をしたことに加え、まわりの人々の協力があり、無事に名古屋大学に合格することが出来ました。

来年度から大学へ通うこととなりますが、高専での経験を生かして大学での勉強や研究に励みたいと思っています。



本郷キャンパス

## 就職活動を振り返って

環境材料工学科5年

岩田 美緒

4年生の夏休みに、第一希望の会社のインターンシップへ参加するところから、私の就職活動は始まりました。12月の合同企業説明会から活動が本格化し、意中の会社への積極的なアプローチを試みました。1月からは徐々にSPIや小論文の対策、履歴書等も書き始めましたが、志望動機を明確にすることが難しく、何度も先生のもとに通いました。3月の筆記試験に合格した後は、面接練習に力を入れました。私は人見知りをする性格なため、人一倍練習が必要で、連日、10数人の先生方に対面練習をしていただきました。第一志望の会社から内定を頂けたのは、先生方や家族の支えがあったからです。今後は、会社に必要とされる人材になるように、困難に負けないで頑張りたいと思っています。



本郷キャンパス

## 大学院進学への道

エコデザイン工学専攻  
機械・電気システム工学コース2年

菅野 裕章

私は環境・生命などの様々な分野に応用できる量子ビーム計測に関する研究に興味がありました。私の興味に合致した研究室がある名古屋大学を受験することにしました。その後、その研究室を訪問し、研究内容を紹介していただくとともに過去問をいただき、合格に向け勉強の計画を立てました。試験を迎えるまで、時間の許す限り勉強に励みました。そして、無事合格を果たした時は感慨無量の思いでした。

「目標を立て、努力をし、成し遂げる。」この先の大学院生活でも、常に目標を掲げながら、自分の夢に近づきたいと思っています。皆さんも目標を立て、目標に向かって努力をして、夢を実現してください。



本郷キャンパス

## 自分と向き合った就職活動

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース2年

廣野 裕哉

私は、専攻科後の進路は就職と決めていました。就職難である今、自分が就職できるか非常に心配である一方、いくつも企業を受けてどこかに採用してもらえれば、という考えは持ちたくありませんでした。企業説明会や合同説明会に足を運びましたが、自分で納得いくような満足感がなかなか得られない中、最終的には、先輩や先生に相談することで、自分はどんなことを将来したいのかを見極めることができました。

就職活動は、自分がこれから一生働く企業を決める大事なものです。企業説明会に多く参加し、自分の興味のある企業が本当に合っているのかよく考えましょう。また、先生や先輩からの客観的な意見を聞くことも重要です。自分の長所や短所を理解した上で、自分に合った企業が選べるように頑張ってください。



射水キャンパス

## 熱く、正直に、 必死に食らいつけ

商船学科5年

堀田 大地

船会社を希望して就職活動を開始しましたが、不況の煽りを受け船会社の内定率が非常に悪いのが現状でした。必死で多くの企業へ採用試験を行っているかと問い合わせた結果、ある船会社の採用試験を受験出来ることになりました。筆記試験は専門教科でしたので、海技試験の勉強が生き手応え十分でした。面接では、マニュアル通りの返答をやめ、全ての質問に正直に答え、「船乗りになりたい」という気持ちをあつぎしくらいアピールしました。そして1週間後に内定通知が送られてきました。皆さんも厳しい就職活動になると思いますが、「～になりたい!」という気持ちを忘れず、必死に会社に食らいついてください。



射水キャンパス

## 編入学試験を経験して

電子制御工学科5年

澤越 純

私は金沢大学理工学域(機械工学類)に合格しました。編入学してから、さらに機械工学を学び、私の卒業研究の分野でもある機械材料についてさらに深く研究を行っていきたくと思います。

私が受験した学科では、口頭試問と面接により試験が行われました。口頭試問では、正確に早く問題を解けるようになるために練習をする必要があります。教官方によく練習をしていただきました。問題は、高専で学習した数学や英語、専門科目から出題されました。日々の授業を理解し、早めに受験勉強を始めることが大切だと思います。

最後に、受験の際にご指導頂いた教官方に心から御礼申し上げます。



射水キャンパス

## 4年間の積み重ね

情報工学科5年

杉木 勇磨

私は、4月の終わりに第一志望である企業から内々定をいただくことができました。就職活動を通して一番大切だと感じたことは“4年間の積み重ね”です。私はエントリーシートに関しては自分の良い所を最大限に知ってもらおうと、1カ月近くの期間をかけて考えました。しかし、面接ではありのままの自分を知ってもらおうと、自分の4年間でメモ用紙に箇条書きにただで質問の対策はしませんでした。今振り返ると、ある程度の対策はしておくべきだったと思うのですが、それだけ私は私自身の4年間に自信がありました。そして、この自信があったからこそ就職活動が成功したのではないかと思います。



射水キャンパス

## ゴールではない、 「進むべき路」

国際流通学科5年

田嶋 雄太

私が進学を決めたのは、「教師になる」という夢を実現させるためです。そのために、特に高専生活の後半では、進学後に自分が学びたいこと、そしてそれがどのように将来に生かせるかを考えながら、編入学試験を見据えてきました。受験勉強は決して楽なものではありませんでしたが、長い高専生活の中で築き上げてきた自分の将来像が、何度も折れそうになった心を支えてくれました。

「進路を決める」ということは、自分が最終的に目指すゴールにたどり着くために「進むべき路を選択する」ということです。皆さんも、まずは自分の青写真を明確に描き上げ、そのうえで進路と向き合ってください。



射水キャンパス

## 専攻科生活の 研究室訪問で感じたこと

制御情報システム工学専攻2年

秋山 裕幸

私が大学院に進学しようと思ったきっかけは、将来、企業の研究・開発分野の職に就きたいと思ったからです。そこで1年次の12月ごろから「自分はどんな分野で研究がしたいのか」ということを考えました。様々な大学のHPを通じて、その研究分野の先生方にアポをとり、先生や研究室の修士の学生のお話を聞きました。その中で、自分が大学院生活で一番成長できる研究室を選択しました。様々な研究室への訪問が一番感じたことは、自分も他の大学の学生などに負けない経験や考え方、知識があるということでした。今後、大学院生活や就職活動に向けて、他と比べた自分を常に意識して行動したいです。



射水キャンパス

## 本当に就職できるのか？

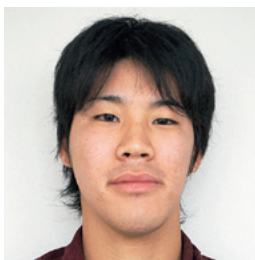
国際ビジネス学専攻2年

長谷 亮輔

私の就活は、この不安からスタートしました。学校生活と就活は、評価の軸が大きく異なります。学校ではテストの点数によって客観的な評価が下されます。一方、就活では点数が付くわけではありません。そのため不採用通知が届いても、何故その評価なのか理解できず苦しい思いもしました。

しかし企業の求める人材に合わせるのではなく、自分の経験を活かせる企業へいくという信念を貫くことで、結果を出すことができたと考えています。だからこそ就活は楽しかったし、成長のきっかけだったと感じています。ぜひ、就職活動を楽しんでください。きっと世界観が変わると思います。

# インターンシップ



本郷キャンパス

## インターンシップを終えて

電気工学科4年  
土井 志文

私は、北陸電力での仕事を体験しました。私が抱いていた北陸電力での仕事のイメージは、エンジニアとしては、機器に関する知識が特に重要で、機械に向かってひたすら作業しているという、主に発電の仕事に関するものでした。しかし、実際には、そのほかにも営業課や送電課などがあり、様々な仕事があることがわかりました。

電力会社でのインターンシップを体験してわかったことは、電気の知識が重要なのはもちろんですが、それ以上にコミュニケーション力が重要だということです。北陸電力では、現場での作業では他の会社の人と共同で作業したり、電気工事説明図などを書いて現場の人に説明して伝えたりすることがあります。そのようなとき相手にしっかり伝えることができないと作業に支障をきたすからです。また、実際に使用している電気機器は自分たちが今勉強している機器と同じようなものが多く、普段から実践的に学ぶことがいかに大事であるかを実感しました。

北陸電力は、私の就職志望先の一つです。今回の体験を、これからの就職活動に役立てて行きたいと思います。



本郷キャンパス

## Working Is Very Hard!

エコデザイン工学専攻 機能材料コース1年  
佐藤 弘規

この夏季休業期間を利用して、金めっきされた電子部品の耐水性についての共同研究を行っているファインテックス株式会社の端子のめっき工程部門で実習させていただきました。

研究室の実験で使用する試料は、この工場で作成したのですが、工場での実習で、それまで知らなかった試料の製作方法について詳しく学び直すことができました。また、製造工程の見学やめっき実験を行わせていただき、実際に現場で用いられているめっきの原理や製造条件管理の厳格さを学びました。頭の中では、製造方法を理解しているつもりでしたが、実際には知らないことが多くあり、研究をするための基礎知識を深めることができました。

さらに、学校と企業の違いを感じることができました。学校では期限に比べて質を重視する傾向にありますが、企業では、製品の納期、求められている品質、コストパフォーマンスが重要であり、それらの最適なバランスをとる必要があることを知りました。

今回体験したことを、今後の研究活動や自らの進路選択に生かしていきたいと思います。



本郷キャンパス

## インターンシップを終えて

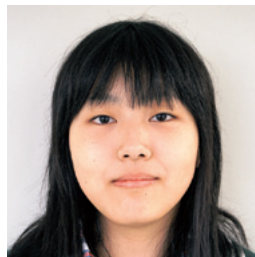
環境材料工学科4年  
加藤 彩

私は、高専に入学した時から、卒業後の進路は就職したいと考えていました。しかし、就職といっても様々な業種、企業があり、自分は何をしたいのか明確に決めることができませんでした。そこで、仕事を体験することで就職についてのイメージをより深く考えたいと思い、インターンシップへの参加を決めました。

インターンシップでは、製薬会社の品質管理試験課に配属され、5日間の実習を行い、品質管理における業務の一部を経験しました。実際に出荷されている製品の原料や容器、包装についての試験法を学び、自ら検査業務にも携わりました。

この実習を通して、仕事に対する責任と重大さを感じました。自分が一人で行っていた仕事は、細かい作業であっても、その一つひとつが積み重なって、大きな企業が成り立っているのだということを改めて認識することができました。

就職活動がスタートしました。今ある時間を大切に、また、インターンシップで得たことを大いに活用して、就職活動に取り組みたいと思います。



本郷キャンパス

## 海外インターンシップに参加して

物質工学科4年  
白井 那奈

学生のうちに海外へ行くことで見聞を広めたいと考え、応募した8人の学生とともに、9月2日から1週間の中国・内モンゴルESD (Education for Sustainable Development : 持続可能な開発のための教育) 研修に参加しました。

研修では、県内企業の現地工場の見学(大連市)、ゲルでの宿泊、国立沙漠化研究所と跡地、内モンゴル民族大学(内モンゴル自治区)など、さまざま場所を訪れ、現地の方々と交流することができました。事前学習は行いましたが、沙漠化\*防止への取り組みが進んでいる事、異なる民族同士うまく共存している事、都市部と農村部の格差が想像するよりずっと大きい事など、どれも日本には分からないことばかりでした。また、現地の人々との交流を通し、彼らの考えや思いを実際に聞いて、自分なりに考えるという経験は何より貴重なものであったと思います。

研修を終え、自分を見つめ直すことで、日本がいかに恵まれているか、また、進んでいるかということがよくわかりました。世界は広く、様々な文化があり、それぞれが抱える問題も多種多様です。今後は国際人である自覚を持ち、世界に目を向ける意識を忘れないようにしたいです。

\*沙漠化：環境工学分野では「砂漠」ではなく「沙漠」を使います。



射水キャンパス

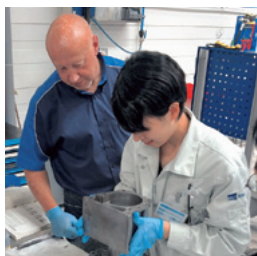
## インターンシップに参加して

商船学科4年

碓氷 あや

私は夏季休暇中に、5日間のインターンシップを株式会社成山堂書店で行いました。成山堂書店は、商船学科になじみのある海事関係などの専門書を取り扱っている出版社です。私は5日間の実習で、本が出来上がるまでの色々な作業の見学や、新刊見本を持っての書店めぐりに同行させていただきました。

私はこの5日間の実習で、細かい作業の多い出版社の業務、その一つひとつにはちゃんと意味があり、手を抜かずにやり抜くこと、その積み重ねが1冊の本を作るために欠けてはいけぬ大切な作業だと感じました。一つひとつのことを手を抜かずにやり抜くこと、このことは、これから社会に出て、出版社以外の会社に入っても、とても大切なことだと感じました。インターンシップを通して学んだことは、これからの就職活動に生かすと同時に、社会に出てからも大切にしていきたいです。短い期間でしたが、とても充実した思い出に残る5日間となりました。



射水キャンパス

## 就業体験で得た発見

国際ビジネス学専攻1年

山崎 裕葉

私は荏原製作所の関連会社であるEPMEスコットランドで就業体験をさせていただきました。オーバーホール工場としての機能を持つEPMEスコットランドでは、主にポンプの解体、洗浄、部品検査、組み立てといった業務を行いました。技術的な知識の無い私にとって、何もかもがゼロからのスタートでしたが、その分学ぶことも多かったと思います。また一方で、書類の作成、管理、在庫管理といったマネジメント業務にも携わることができました。驚いたのが、EPMEスコットランドでは技術職と事務職といった区切りが無く、こうした一連の業務は全て工場の技術者の方たちが行っておられた点です。そのため、社内ではコミュニケーションが積極的にとられ、新たな課題発見や解決に柔軟に対応しておられました。私もこうした一連の業務を体験し、実際の職場では、自分の専門内にとどまらず、幅広い業務に携わることができる学際的な人材が求められているのだと感じました。



射水キャンパス

## インターンシップで学んだこと

電子制御工学科4年

碓井 悠太

私はインターンシップで北陸電力株式会社にお世話になりました。研修期間は5日間でしたが、この5日間で主に二つの事を学びました。

一つ目は電力会社でも様々な分野の違う部署があるという事に驚きました。私はインターンシップに行く前までは電力会社は発電業務がメインで、電柱から家まで電気を供給する配電業務は他の会社が行っていると思っていましたが、電力会社は電気を生み出す発電業務、発電した電気を電柱に流れる電圧まで下げる変電業務や配電業務などを全て行っていて、様々な分野のスペシャリストがおられると分かりました。

二つ目は仕事には体が大事という事です。電力会社の仕事は危険が多く、肌の露出の無い作業服にヘルメットを着けての作業が当たり前であり、そのような服装で真夏の猛暑の中で作業する事がとてもつらかったことが記憶に残っています。体調を崩すと仕事になりません。社会に出て仕事をする時までに暑さにも負けない体づくりをしておく必要性を感じました。



射水キャンパス

## 海外インターンシップに参加して

制御情報システム工学専攻1年

江尻 千佳子

私は、北アイルランドにあるSERC大学での海外インターンシップに参加しました。SERC大学では、英語や専門の講座を始め、工場見学に行ったり、観光地や教会などを訪れたりして、北アイルランドの歴史も多く学びました。専門の授業では、英語に四苦八苦しましたが、専門の知識と同時に英語も勉強できて、とても身になる授業でした。また、ダンルース城など古いお城や教会では、崩れた城壁から人々の思いや、戦争での痛みが伝わり、とても心に響きました。

参加する前は、英語を学びたいと単純な理由で参加しましたが、北アイルランドでの1カ月間で、英語を話すことの重要性を改めて感じ、また英語以外にも文化の違った海外で親元を離れ生活することで、人間としても成長できたと思います。これも、親身になってお世話くださったミルフォード先生をはじめとする北アイルランドのみなさんのおかげです。私は、このインターンシップに参加して、心からよかったと思います。

# 退職教職員挨拶



本郷キャンパス  
一般教養科(体育)  
**松井 紳一郎**

## 退官を迎えて

富山高専は昭和39年に開校され、あと2年で50周年を迎えます。私は昭和48年に本校に勤務しましたが、この間に初代野路校長から8人の校長が入れ替わり、卒業生も6,600余名になりました。振り返ってみると、自信に満ちて仕事ができ、教員として判断に苦しんだ時、人間関係で苦渋の選択をした時もありました。しかし、学生諸君の若さあふれる行動、毎日に成長する姿を目の当たりに見て、やるべき教育の方向性を確信することができ、本当に幸せな日々を過ごせたと思っています。

担当の体育では、全4学科の学生諸君の授業に携わりましたが、工業系の学生達は、運動のメカニズムの理論的な説明にも関心を示してくれました。学生との出会い

の中で、在学中の3兄弟や卒業生とその子息双方の授業を担当したことなども懐かしい思い出です。柔道部顧問としての活動は、合宿、寒稽古、県外遠征等。大会成績では、今年で47回となる北陸地区大会での団体優勝回数37回。全国大会では団体優勝7回、上位入賞(3位以内)22回、個人優勝者9名、個人上位者26名の成績を残した指導は充実していました。

時代の変化と共に組織改革、富山商船との統合再編など、このような学校の移り変わりを見つめながら本校一筋に40年間勤務させてもらったことに感謝しています。今後も富山高専がますます発展することを祈念しながら退官の言葉とさせていただきます。



本郷キャンパス  
一般教養学科(数学)  
**藤堂 最音**

## キャリア教育のこと

かつては、学校はもっぱら勉学(＋アルファ)の場であり、学校を出てからのこと・現実社会のことを教えられたことは、あまりなかったような気がします。

小学校には二宮金次郎(尊徳)さんが銅像になって、書物に目を落とすつつ、柴をしょって歩いているぐらいでしたが、これは全然無意味かという、そうでもなくて、原記憶のどこかにしっかりしまわれているような気がします。私がいうとウソみたいですが。

本校にかぎらず中・高等教育機関全体で、勉学よりもっと広い、社会に出る準備のための教育の重要性が、認識されているようです。

当時は、高校はともかく、大学は勉学の点数よりも自分

の幅を広げる活動を、学生も世間も重視していたように記憶しています。学生の方のキャパシティを広げ、いわば、どういう進路を取ろうと、その与えられた道で生き延びていく力をつける、ということになりますか。

知り合いて、印象に残る人がいました。事情があって高校へ(当時は定時制という夜間の高校がありました)進学できず、集団就職の夜汽車で降りた先が、上野の金具の製造場。屋根裏部屋の三畳間に三人詰め込まれたのが、いわばキャリアの始まり。

だんだんよくなっていく時代だったといっても、辛抱できず逃げ出した人もいると思うが、それをまっとうするのは、どんな力なのでしょう？ 最近そういうことを考えます。



射水キャンパス  
技術長  
**坂口 克彦**

## 退職にあたって

三月で富山高専を退職にあたり、私が本校で過ごした四十年余りの歳月の中で、思い出に残るいくつかの体験を紹介します。

一番目は、技術職員として就職し、富山商船高校から商船高専になって数年後の事でした。航海・機関学科の2学科で、校舎も放生津から練合に移転して真新しい校舎で第一専門棟、実習工場、学生寮等があり、まだ全学年が揃ってなく、実験実習等に使用する教材、実験器具の製作も行いました。

二番目は、航海学科の2クラスの一つを情報工学科に学科改組が行われた時の事で、情報工学科の担当として移転関係の仕事を行いました。

三番目は、富山商船高専と富山工専が合併により、技術

職員も総務課から分離され、本郷キャンパスと射水キャンパスの技術職員が一つの技術室として、新しくスタートした時の事です。技術室の業務も、学生・教員への専門的な教育研究支援が増えてきています。今後、技術職員の仕事も少しずつ変化しますが、努力し対応すると思います。

このように振り返ってみれば、いくつかの転換点というか節目に富山高専の技術職員として数々の体験ができたことは、退職を迎える私にとっては非常に貴重な思い出となっています。最後に永きに亘って技術職員として勤務することができたのは、関係教職員のご厚情のお蔭だと思っております。教職員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

## 各種全国大会成績

|                             |      |        |               |
|-----------------------------|------|--------|---------------|
| 第25回全国高校将棋竜王戦               | 準優勝  | 湊 開誠   | (機械システム工学科1年) |
| 第12回日本情報オリンピック予選 デジタルメディア創作 | Aランク | 富岡 稔   | (電子情報工学科2年)   |
| 2012年度ジュニア・マリン賞 漕艇          | 優秀賞  | 高村 佑樹  | (商船学科3年)      |
|                             |      | 阿部 斗輝矢 | (商船学科1年)      |

## 韓国慶熙大学の学生を受け入れ



本郷キャンパスでの開講式

平成25年1月22日、韓国の慶熙大学の学生10名が、短期交流プログラムのため来校しました。今回の訪問は、慶熙大学との間の学生交流プログラムの一環として実施されたもので、昨年8月には、本校から専攻科生および専攻科進学予定の学生8名が10日間、韓国でのプログラムに参加しています。

## 平成24年度 富山県高等学校体育連盟賞受賞者

本校から4名の学生が受賞しました。

|    |                    |
|----|--------------------|
| 卓球 | 大野 裕也(機械システム工学科3年) |
| 水泳 | 竹原 大揮(物質化学工学科3年)   |
| 陸上 | 井口 佳祐(電子情報工学科3年)   |
| 陸上 | 杉本 有希(国際ビジネス学科3年)  |

## 2nd International Symposium on Expertise in Sustainable Society(2nd ISESS)開催

平成24年11月29日から2日間にわたり、富山県民共生センターサンフォルテを主会場として「第2回持続社会形成の専門技術に関する国際シンポジウム」が開催されました。

## 平成24年度日本英語検定協会 「文部科学大臣奨励賞」受賞

平成25年3月6日、本校本郷キャンパスは、英検成績優秀団体選考委員会において、「文部科学大臣奨励賞」に選定されました。高専部門では、本郷キャンパスのみが受賞しています。

表紙写真撮影：安川諒さん(電気システム工学科2年)

# Toyama Kosen News & Topics

## ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsをご覧ください。  
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)

## インターンシップでの 就業体験を発表



専攻科学生の発表

平成24年12月4日、富山短期大学において、富山県インターンシップ推進協議会主催「インターンシップ就業体験発表会」が開催され、本校からも2名の女子学生が発表を行いました。今年度の富山県におけるインターンシップ参加学生数は871名、参加企業・団体は287社で、県外学生のUターンインターンシップには125名の参加がありました。富山県内の高等教育機関学生のインターンシップ参加者数は全国的でも飛びぬけて高い数値となっているとのことです。

## 吹奏楽部が富山県アンサンブル コンテスト3部門で入賞



喜びの吹奏楽部員

平成25年1月26日、砺波市文化会館で開催された第47回富山県アンサンブルコンテストの「大学の部」において、本校吹奏楽部が、サクソフォン四重奏で金賞(射水)、金管八重奏で銀賞(本郷・射水混成)、木管三重奏(射水)で銀賞を受賞しました。

## アイデアロボットフェスタに参加



「マークシューター」のデモンストレーション

平成25年1月19日、高志会館で開催された、「平成24年度アイデアロボットフェスタ」に、ロボコン東海北陸地区予選に出場した本郷キャンパスの「12式従走高射機関砲(マークシューター)」と射水キャンパスの「桃太郎△(モモタロウサンカケイ)」が参加し、工業高校のロボットなどと一緒に、デモンストレーションを披露しました。

## Editor's room 編集後記



専通信7号をお届けいたします。高専通信は保護者の皆様に向けた広報誌ですが、本号は、卒業式を中心に進路やインターンシップなど、在校生の皆さんも、進路を考える上での参考になる内容になっています。卒業研究や特別研究、また、年度末のお忙し中、編

集にご協力いただきました皆様方には心より感謝申し上げます。今後も、「高専通信」をより良いものにするために、ご意見・ご要望などございましたら、広報戦略室までお寄せいただければ幸いです。

広報戦略室 青山 晶子

問い合わせ先

本郷キャンパス：〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 TEL 076-493-5402  
射水キャンパス：〒933-0293 富山県射水市海老江線合1番2 TEL 0766-86-5112

<http://www.nc-toyama.ac.jp/>



# 富山高等専門学校 平成25年度行事予定

| 月  | 本 科   | 専 攻 科                                      | 学外行事                                      |
|----|---|--|---|
| 4  | 入学式<br>始業式<br>新入生オリエンテーション<br>前学期授業開始<br>定期健康診断                       | 入学式<br>始業式<br>前学期授業開始<br>定期健康診断            |   |
| 5  | 1年生合宿研修<br>交通安全講習会<br>校内球技大会(本郷)                                      | 交通安全講習会<br>校内球技大会(本郷)                      |   |
| 6  | 前学期中間試験<br>校内球技大会(射水)   | 推薦入試・学力入試<br>校内球技大会(射水)                    |   |
| 7  | 前学期末試験(7・8月)<br>カッターレース大会<br>保護者懇談会(本郷)                               | 前学期期末試験(7・8月)<br>カッターレース大会                 | 北陸地区高専体育大会(6・7月)<br>全国商船高専漕艇大会(カッター部門)    |
| 8  | 夏季休業(8・9月)<br>インターンシップ(8・9月)<br>夏季オープンキャンパス                           | 夏季休業(8・9月)<br>インターンシップ(8・9月)               | 全国高専体育大会                                  |
| 9  | 卒業式(商船学科)<br>保護者懇談会(射水)   | 修了式(海事システム工学専攻)                            | 全国商船高専漕艇大会(ヨット部門)                         |
| 10 | 後学期授業開始<br>合同球技大会<br>県外工場見学(4年生)<br>県内工場見学(3年生)<br>日帰り研修(2年生)<br>消防訓練 | 後学期授業開始<br>合同球技大会<br>消防訓練                  | プログラミングコンテスト(全国大会)<br>ロボットコンテスト(東海北陸地区大会) |
| 11 | 第5回高専祭(志峰祭)<br>企業研究会<br>秋季オープンキャンパス<br>後学期中間試験(11・12月)                | 第5回高専祭(志峰祭)<br>企業研究会                       | ロボットコンテスト(全国大会)<br>デザインコンペティション(全国大会)     |
| 12 | 冬季休業(12・1月)   | 冬季休業(12・1月)                                |   |
| 1  | 学習到達度試験(3年生)<br>推薦入試  |  | 英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)                    |
| 2  | 後学期末試験<br>終業式<br>卒業研究発表会<br>学力入試<br>卒業式(射水・商船学科を除く)                   | 後学期末試験<br>特別研究発表会<br>修了式(射水・海事システム工学専攻を除く) |   |
| 3  | 卒業式(本郷)<br>リーダー研修会  | 修了式(本郷)                                    |   |



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

